令和７年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育研究指定校事業＞

都道府県・指定都市名	長野県	学校名	豊丘村立豊丘中学校

人権課題	ハンセン病患者等	対象学年・取り扱った教科等	全学年　学級活動	時数等	１～３年 ６時間

目標・人権教育のねらい	・ハンセン病に関わる差別偏見の歴史や苦しみを乗り越えようとする人たちの生き方を知り、それに関わる人々の思いや行動から、新たな差別や偏見を生まないために自分たちに何ができるかを考えることを通して、具体的な行動に移す意欲を高める。
実施した内容	・読み物や視聴覚教材を活用し、ハンセン病の歴史や時代背景、病気について、なぜ差別されたのかについて理解する。 ・ハンセン病回復者の伊波敏男さんの講演を聞き、差別を受けた人の経験や思い、伊波さんのメッセージから、差別や偏見に対する自分の思いを明確にする。 ・不当な差別や偏見の根絶に向けて何ができるか、自分たちの考えを伝え合う。
工夫した点	・講演会の翌日、３学年の授業に講師の伊波敏男さんをお招きし、学習の様子をご覧いただくとともに、伊波さんと直接お話する機会を持った。 ・授業参観日に伊波敏男さんをお招きし、生徒・保護者が一緒に講演をお聞きすることで、ハンセン病について親子で共通理解をもち、家庭でも話題とした。

令和７年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育研究指定校事業＞

他教科との関連	・総合的な学習の時間

事業成果	・知識的側面：ハンセン病の歴史背景、公平・公正についての理解が深まった。 ・価値的・態度的側面：身近な生活の中にある差別や偏見がよくないことであるという考えを共有できた。 ・技能的側面：友だちに対して、相手の気持ちや立場を考えた行動や発言ができる生徒の姿が見られた。

令和７年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育研究指定校事業＞

都道府県・指定都市名	長野県	学校名	豊丘村立豊丘中学校

人権課題	その他（満蒙開拓移民と帰国者）	対象学年・取り扱った教科等	全学年　学級活動	時数等	１，２年：３時間 ３年：８時間

目標・人権教育のねらい	・満蒙開拓の歴史や体験者の思い、戦争が様々な人の人権を奪うものであることを知る。 ・戦争のない人権が尊重される未来を作るために自分たちにできることを考える。
実施した内容	・読み物や視聴覚教材を活用し、豊丘村からも大勢が送られた満蒙開拓の歴史背景や、敗戦後の集団自決、残中孤児等の過酷な体験について理解する。 ・満蒙開拓の歴史や体験者の思いについて学んできた３年生が、１，２年生に自分の学びを伝え、全校で人権や平和について話し合う。 ・満蒙開拓を研究している豊丘村出身の劇作家・精神科医の胡桃澤伸さんの講演を聞き、戦争のない人権が尊重される平和な世界を目指す気持ちを養う。
工夫した点	・講師である胡桃澤伸さんと満蒙開拓とのつながりが分かるドキュメンタリー番組映像をテレビ局からお借りし、視聴することで、生徒がイメージを持つことができた。 ・全校を縦割りにし、異学年が小グループを作り、満蒙開拓や人権について自分の考えを伝えたり話し合ったりする機会を設けた。

令和７年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育研究指定校事業＞

他教科との関連	・総合的な学習の時間 ・社会科

事業成果	・知識的側面：満蒙開拓の歴史背景を知り、人権侵害の構造を理解できた。 ・価値的・態度的側面：戦争は人権を奪うこと、被害者にも加害者にもなりうることを知り、戦争のない人権が尊重される世界になってほしいという思いを強く持つことができた。 ・技能的側面：授業の中で、自分の考えを発表する３年生と、それを聞いた１，２年生が活発に話し合ったり、胡桃澤さんの講演を聞き、疑問に思ったことや自分の思いを積極的に発言する姿が見られた。